

2. 経 営 方 針

(1) 経営の基本方針および中長期的経営戦略

当社は、「エンジニアリングをつうじて社会に貢献する 顧客の心を心として誠意をもってニーズに応える よく考え、つねにフェロウシップによって行動する」の3点を社是としております。

具体的には『快適環境を創造するファシリティ・システム・インテグレータ(F S I)』として、顧客およびエンドユーザーのニーズを的確に把握し、最善の顧客サービスを追求しております。

中長期的には、建設設備における戦略事業であるリニューアル事業、エンジニアリング事業、および情報通信事業の対象事業領域を明確にし事業拡大をはかるとともに、機械システム事業、環境システム事業につきましても顧客開拓や新分野の開拓による事業の拡大をはかる所存であります。また、当社保有技術の複合化・統合化・融合化等により、成長分野における新事業を開発し、収益に貢献できるように育成してまいります。

(2) 利益配分に関する基本方針

当社の利益配分につきましては、安定的な配当を基本としつつ、業績に対応した配当も考慮しております。また、内部留保にも努め、競争力の強化をはかるとともに、事業発展の基礎を構築するため、新事業と新技術の開発等に有効投資してまいります。

(3) 投資単位の引下げに関する考え方および方針等

当社は、個人投資家層の拡大および株式の流動性の向上について、重要課題の一つと認識しております。投資単位の引き下げにつきましては、業績、市況等を勘案し、費用ならびに効果等を慎重に検討したうえで、株主利益の最大化を基本に決定してまいりたいと考えておりますが、現段階では具体的な施策および時期等につきましては未定であります。

(4) 経営管理組織の整備等（コーポレートガバナンスの充実）に関する施策

経営および取締役の職務執行等のチェックを強化するため、経営会議・取締役会その他重要な会議へ常時監査役が出席し監視する体制を整えております。また、公正な経営や事業活動を営むため、社外取締役の選任や、社外監査役の複数選任により、株主から委託された会社財産の運用等につき、株主利益に反しないよう経営および取締役を監視しております。

さらには、役員や従業員に企業倫理にもとづく行動基準の浸透をはかるために、「倫理規程」を制定し、毎年定期的に倫理検診を実施しております。

(5) 会社の対処すべき課題

当社を取り巻く事業環境は、建設設備事業におきましては世界規模のIT不況を原因とする製造業の低迷や公共工事の抑制等から建設投資も70兆円を割り込み、悪材料が多いなかで、業界再編も遅々として進まず、過当競争を一層強めております。プラント事業におきましてはダイオキシン特需が一段落し下水道普及率の伸びの鈍化と公共投資の抑制から、激化する受注競争のなかで収益構造は厳しさを増してきております。

この厳しい経営環境のなか、2001年度からの5カ年の長期経営計画に沿った経営体質強化のために全社一丸となって計画の実行に取り組んでおります。すなわち、連結業績の最大化を目的として、当社の中核事業である建設設備事業を強化し、営業面、生産・施工面の業務革新による利益率の向上と、戦略的事業分野への注力を図ると同時に、新規分野の事業拡大と、全社的な構造改革を鋭意推進する考えであります。